

公益社団法人化学工学会  
粒子・流体プロセス部会 2021 年度第 2 回幹事会  
議事録

日時：2022 年 3 月 16 日（水）12:00～13:00

場所：オンライン(化学工学会 GOING VIRTUAL システム XG 会場)

出席者：桑木，仁志，立元，木俣，三角，山田，押谷，藤本，伊奈，野田  
(以上 10 名，敬称略)

オブザーバー：林(事務局)

1. 前回幹事会議事録の確認（資料 1）

前回幹事会の議事録内容を確認し、内容を承認した。

2. 部会長会議と支部・部会の財務課題に関する打ち合わせの報告（資料 2）

2021 年度第 2 回部会 CT・部会長合同会議と支部・部会の財務課題に関する打ち合わせの報告がなされた。これまでの幹事会で遊休資産の問題とともに問題視していた業務（特に会計関係）の負担軽減について、学会本部の方では部会や分科会が多数あり十分対応できないことが分かったため、部会としてアウトソーシングを活用するなどを検討することとなった。

3. 2021 年度部会・分科会活動報告（資料 3）

部会長より、2021 年度部会・分科の活動について報告があった。  
活動報告書については 3 月 25 日に本部へ提出予定。

4. 2022 年度事業計画（資料 4）

部会長より、2022 年度事業計画についての報告があった。  
事業計画書は 1 月 20 日に本部へ提出済み。

5. 2021 年度分科会配分（資料 5）

事務局より、2021 年度分科会配額についての説明および振込完了報告があった。

6. 2021 年度決算（資料 6）

事務局より、2021 年度の決算報告があった。

決算書類は 3 月 15 日に本部へ提出済み。

正味財産期末残高が 100 万円以上増えていることに質問があったが、これには今年度積み立てが特定資産の分が含まれておらず、部会会計全体の遊休資産の増加にはつながっていないことの説明がなされた。

監査において、手書きで修正がある部分があり、その点を明らかにするよう指摘があったことが報告された。この点を明らかにして監事に報告し、問題なければ監査終了で改めて報告予定であることの説明がなされた。

7. 2022 年度予算（資料 7）

事務局より、2021 年度の予算について報告があった。  
予算申請書は 12 月 6 日に本部へ提出済み。
8. 2022-2023 年度部会長および副部会長について（資料 8）

部会長より、2022-2023 年度部会長および副部会長候補者の紹介があった。  
部会長：寺坂 宏一（慶應義塾大学）  
副部会長(行事担当)：太田 光浩（徳島大学）  
副部会長(賞担当)：仁志 和彦（千葉工業大学）  
幹事会としてはすでにメール審議で承認済みで、総会を経て正式に承認される。
9. 2022-2023 年度部会幹事役割分担について（資料 8）

部会長より、次期部会長が作成した 2022-2023 年度部会幹事役割分担案が示された。  
どのような考えで分担が決められたのかという質問があり、できるだけ担当が変わるよ  
うにという考えだったという説明がなされた。担当に関しては次期幹事で再検討し、決  
定予定。
10. 若手研究者・技術者を対象とした工場見学および交流会（資料 9）

伊奈企画幹事から 1 月 20 日に行われた第 9 回「若手研究者・技術者を対象とした工場  
見学および交流会」の実施報告と会計報告があった。来年度はコロナの状況にもよるが、  
オンラインでの実施も十分可能であることが示された。
11. 部会賞について（資料 10）

仁志副部会長(賞担当)から 2021 年度各賞の受賞者の紹介があった。  
昨年度まで応募のなかった技術賞と動画賞に応募があり、受賞者があったことが報告さ  
れた。来年度以降も多数の応募があることが望まれる。
12. 部会セミナーについて  
部会セミナーについて三角担当幹事より説明があった。受賞者が受賞講演をするため  
には年会の参加費を払わなければならない、今年度の動画賞受賞者から学生の参加のた  
めの補助等はどうなのかという質問があったことが報告された。これまで部会として  
は受賞者には年会の参加費を払って受賞講演をしてもらっており、これを踏襲するこ  
とが確認された。
13. 各分科会報告  
特になし。
14. その他

特になし。

以上